

■ 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 第4回東京シンポジウム ■

企業は“国難”にどう立ち向かうのか？

— 巨大地震災害と感染症パンデミック —

日 時：10月28日（月）13時～17時（要申込・参加費無料、定員500名）

場 所：学術総合センター 一橋講堂・中会議場（東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号）

関西大学では、10月28日（月）東京都千代田区・学術総合センターにおいて、社会安全学部・大学院社会安全研究科第4回東京シンポジウムを下記のとおり開催します。

今回は、「企業は“国難”にどう立ち向かうのか？—巨大地震災害と感染症パンデミック—」をテーマに、本学社会安全学部教授をはじめ、作家、地方自治体の保健関係者、ジャーナリストなど様々な分野で活躍する有識者を招き、3会場に分かれて、セッション・体験型演習および学生による研究発表を実施します。

記

【第1会場（一橋講堂）】13:00～17:00 国難セッション

司 会 高野 一彦（関西大学社会安全学部教授）

開会挨拶 小澤 守（関西大学社会安全学部長、教授）

◆第一部 13:05～14:45

◇テーマ：「巨大地震災害の企業が想定すべきワーストシナリオ」

高嶋 哲夫（作家）

藍原 寛子（フリージャーナリスト）

河田 恵昭（関西大学社会安全学部教授、社会安全研究センター長）

◆第二部 15:15～16:55

◇テーマ：「感染症パンデミックの企業が想定すべきワーストシナリオ」

岡部 信彦（川崎市健康安全研究所所長、元国立感染症研究所感染症情報センター長）

前田 秀雄（東京都福祉保健局技監）

藍原 寛子（フリージャーナリスト）

高鳥毛 敏雄（関西大学社会安全学部教授）

閉会挨拶 小澤 守

【第2会場（中会議場3・4）】13:00～16:45 体験型危機管理演習

◆第一部 13:00～14:30 図上演習

講 師：永松 伸吾（関西大学社会安全学部准教授）

◆第二部 15:15～16:45 リスクコミュニケーション演習

講 師：広瀬 幸雄（関西大学社会安全学部教授）

【第3会場（中会議場1・2）】13:00～16:45 学生によるパネル研究発表

この件に関するお問い合わせ先

以上

関西大学 広報室広報課 担当：石田、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp